



続「鍼灸」は「効果」があるのか？

第1回「ヨーロッパ医学にはない鍼灸治療の特質」

琉球治療院 関 忠雄

ヨーロッパ医学の先入観

昭和の名鍼灸師で恩師の倉島宗二先生（1911〜1995）は歯を抜いた子供が顔面神経麻痺になったとき、医師に「鍼は注射針同様に神経を切断する」と批判されました。このことに対し倉島先生は逆に「鍼の神経切断説」を主張し、日本鍼灸治療学会で鍼が治療できる根拠としました。東京大学で解剖学を、日本赤十字病院で臨床研修をされてヨーロッパ医学の中で育った先生の一つの到達点でした。当時切断説に賛同した科学派といわれた先生らもヨーロッパ医学の中で育っています。

長野の倉島先生の針灸研究所の字も意識して「鍼」ではなくヨーロッパ医学を意識して「針」にしてあります。

「鍼の神経切断説」は鍼灸師の先生らには驚きをもって迎えられたのですが、だれも鍼が神経を切断するという事にハッキリ反論できないまま時間が経ってしまいました。

2017年に読売巨人軍の選手の肩の故障について、「球団トレーナーによる鍼治療のミスで長胸神経の麻痺が生じた」と複数の医師が診断したと球団から発表されたことがありました。その際、多くの鍼灸師が懸命に反論したにもかかわらず何も変わりませんでした。多くの人は「鍼の治療をしましょう」というと、注射針をブスブス刺される状況を連想します。

長野県鍼灸師会初代会長で太極療法（澤田流）を継承し、数多くの著作物を世に送り出してきた代田文誌先生の『鍼灸治療基礎学』の瘡門（あもん）穴の部分を読んで、時代小説・歴史小説作家の池波正太郎氏は『仕掛人・藤枝梅安』の着想を得たそうです。藤枝梅安が鍼灸師だと思っている人も多いのです。

昨年、琉球治療院で会員用に鍼灸の動画を撮っていたのですが「神経ブロックと鍼灸」の話をしているとき、ヨーロッパ医学にはない鍼灸治療の特質について突然に思いあたりました。倉島先生や科学派の先生らはヨーロッパ医学の先入観があったため、無意識のうちに私たちが使っている鍼と注射針を同一なものと思っていたのです。

1662年にイギリス人の医師が動物の輸血に使い始めた注射針は、1831年にフランス人の手で現在の形に改良されました。鍼は前漢の武帝時代・紀元前140年頃にすでに作られていました。鍼はまさか注射針と比べられるとは思ってもいなかったことでしょう。

神経ブロックと鍼治療

鍼治療と最も近いヨーロッパ医学での治療は神経ブロックといえます。神経ブロックは1964年頃から末期ガンの苦痛を軽減するために、日本でのペインクリニック創設者若杉文吉先生によって始められました。神経ブロックは注射針によって結合組織を切



関 忠雄 Tadao Seki

- 1949年 長野県生まれ
- 1973年 中央大学法学部卒業
- 1978年 早稲田鍼灸専門学校卒業／倉島宗二師に師事 臨床鍼灸学を研修
関鍼灸治療室を開設
- 2003年 新潟大学医学部第一解剖学教室で末梢神経(自律神経:迷走神経)解剖を研修
- 2005年 佐野動物病院にて獣医学を研修
- 2006年 名古屋市れもん鍼灸接骨院院長
- 2013年 アルゼンチン(F・バレイラ)鍼灸院院長
- 2018年 アルゼンチンから帰国
- 2019年 琉球治療院勤務

「続・鍼灸はなぜ効果があるのか?」を書く
うと思ったのは、帰国後勤めた訪問医療マッ
サージKEIROWの新社員研修で、ほとんど
の鍼灸師がまともに鍼を刺せないのに愕然
としたことがきっかけです。からだ元氣治療
院の鍼灸師も同様でした。私たちが鍼灸を勉
強していたころの熱意が今の鍼灸師には感
じられません。『現在の鍼灸治療は、刺激の後

の反応を恐れるあまり神経組織を刺激する
という手段を避けようとしています。このため痛
みなどを取るという鍼治療本来の目的も同
時になくしている』と思ひあたりました。
もつと鍼灸の原理を掘り下げて臨床にいか
すことで、現在のヨーロッパ医学の欠けてい
る部分を補いもつと合理的な治療ができる
ようになると思っています。 関忠雄 拝

図1 末梢神経と鍼

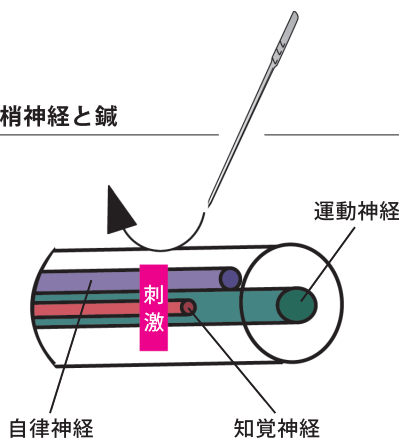


写真1 神経線維



太いのが運動神経、中位が自律神経、細いのが知覚神経

写真2 注射針先と鍼先



断することを想定しています。
これに対して圧倒的に細い鍼を使用した
鍼治療は、ヨーロッパ医学の神経ブロック
とは全く異なった原理で成り立っていま
す。私が新潟大学で教えを受けた千葉正治
先生が言われるように、「鍼治療では結合組
織は切れない」のです。**鍼治療は神経を切る
のではなく、刺激するだけなのです。**このよ

うな治療手段は現在のヨーロッパ医学にあ
りません。
倉島先生が主張された「鍼の神経線維切断
説」は、全く違った神経ブロックの中で生き
ており、鍼治療にはヨーロッパ医学では考え
つかなかった方法があることを示してくれ
ました。